



名古屋市を中心とした 都市住民への森林・林業に関する 理解を深める取組

▲木材生産現場の見学（森林ふれあい講座）



▲リース作り（森林ふれあい講座）

「国民の森林」としての国有林野の管理経営を進める上で、近年、国民の森林に対する期待や要請が多様化する中、地球温暖化の防止や生物多様性の保全など森林の有する公益的機能の発揮のほか、森林とのふれあいや森林環境教育への貢献等に対する期待が益々大きくなっています。

中部森林管理局では、200万都市である愛知県名古屋市を中心とした都市住民の方々に、森林とのふれあいや下刈等の作業体験を通じて、森林・林業に関する理解を深めていただくための取組を進めています。



▲森の再生を目指したコナラの植樹（名古屋シティ・フォレスター事業）

森林ふれあい講座

一般市民を対象に、体験・見学等を通じ、森林・林業に対して興味を持っていただくための講座を、名古屋市熱田区生涯学習センターとの共催で年間8回程度開催しています。

本講座では、里山保全の話とホテルの観賞、高性能林業機械を使用して効率的な木材生産に取り組んでいる現場の見学、松ぼっくりやつる等森林からの贈り物（材料）を使つてのリース作り、炭の効用の話と観賞炭の作成、きのこの話といったけの植菌（駒打ち）体験等、座学だけではなく森林や自然を直接見たり触れたりしながら体験する中で、少しでも森林・林業に関心を持っていただけるような講座となるよう努めています。

名古屋シティ・フォレスター事業

都市に住む方々の中には、「日頃お世話になっている森林にお返しをしたい」と、森林ボランティア作業を望む声が多くあり、そういった方々の要望に応えるため、平成9年に



除伐作業で明るくなった林内
(名古屋シティ・フォレスター事業)



作業を終え充実感(名古屋シティ・フォレスター事業)

「緑の応援団」として「名古屋シティ・フォレスター事業」を立ち上げ、ボランティアでの健全な森林づくりや自然環境の保全活動等を、年間15回程度行っています。

参加希望者には名古屋シティ・フォレスター隊員として登録していただき、植樹、下刈、間伐、歩道整備等の森林ボランティア作業に継続的に参加していただく取組を進めており、現在は愛知県内を中心に、遠くは群馬・兵庫県を含め約230名の方々に登録いただいています。

安全面等を考慮して、毎回定員制で実施することとし、登録隊員の方々へ年間の事業計画書を送付した上で、希望する事業に参加していただいています。しかし、中には希望者が定員を大きく上回る事業もあり、隊員の方から「もっと定員を増やしてはどうか」といった声が寄せられ、関心の高さを実感しているところです。

また、隊員の方の中には「もっと積極的に森林整備に取り組みたい」と、隊員の有志の方々に新たにボランティア団体を結成したり、他の団体で

も活動するなど、幅広く活躍されている方々も多数いらっしゃいます。

みどりのフェスティバル

愛知県瀬戸市にある都市近郊林の定光寺自然休養林内では、平成17年から「みどりのフェスティバル」を毎年開催しています。

新緑の中、木工教室や丸太切り・火おこし等の体験企画をはじめ、チーンソーパフォーマンスや平成17年に当地で開催された「愛・地球博」のマスケット「モリゾー・キック」の出演、木製品の販売などが行われ、都市住民の人々



汗を流す隊員と整備された森林
(名古屋シティ・フォレスター事業)

に森林とのふれあいや木の良さ・ぬくもりを感じていただくイベントとなっています。

実施にあたっては、林業関係をはじめ様々な団体の協賛やボランティアの方々との協力をいただき、毎年2千人前後の来場者を迎えています。

おわりに

それぞれの取組を通じて参加者から、「町では学習できない現場を知ることができた」、「林業の一部を垣間見ることができた」、「森林ふれあい講座」、「森林が整備される」、「元気に



新緑の中で(みどりのフェスティバル2012)



木工教室の様子(みどりのフェスティバル2012)

なる」、「後世に引き継がれることに満足」(名古屋シティ・フォレスター事業、「毎年楽しみにしている」、「新緑の中で過ごす1日はとても気持ちがいい」(みどりのフェスティバル)等の感想が寄せられるなど好評を得るとともに、継続しての実施を要望されています。

中部森林管理局では、今後とも都市住民の方々に、森林での作業体験等を通じ、森林の持つ多面的機能をはじめ、森林・林業に関する理解の醸成に資するための取組を進めていきます。